

やまがた

2008

冬号

総合支所だより

(No.11)

練習の成果 舞台上で発揮

(山形小学習発表会)

今号の主な内容

- ぐれっと！やまがた街道祭…………… p 2～3
- 公共施設の使用料を見直し…………… p 4
- 東京農業大学の
研究プロジェクトがスタート…………… p 5
- おらほの話題…………… p 6～7
- お知らせ…………… p 8

ぐれっと！やまがた街道祭

秋のやまがたぐれっと！にぎわう



平庭市会場も大にぎわい。秋の味覚が盛りだくさんでした

秋の山形が大にぎわい！
「ぐれっと！やまがた街道祭」(同実行委員会主催)は、十月十八日と十九日の二日間、町内十七会場で開催され、延べ約一万人の来町者が、山形町の魅力を満喫しました。

町内17会場で山形の魅力を発信

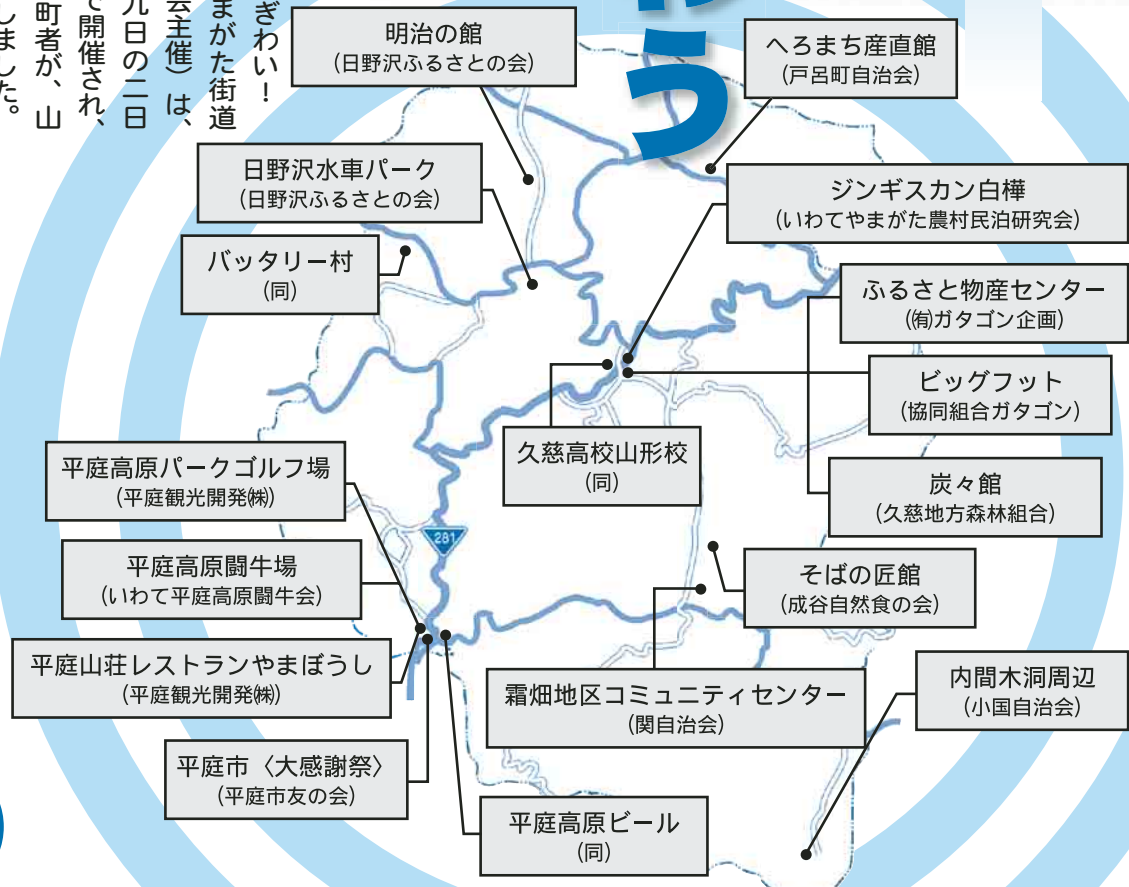
町内ににぎわいをつくり出すと、昨年初めて開催された「ぐれっと！やまがた街道祭」。今年は町内の各種団体が十七会場で趣向を凝らした

催しを実施し、山形町自慢の食や見どころを訪れた人たちにPRしました。

今回が初参加となったのは、関自治会(霜畑地区コミュニティ)

参加者の声

参加者の皆さんに記入いただいたアンケートのフリー記載欄から、主なものを紹介します。



「ぐれっと！やまがた街道祭」会場図 ()内は参加団体



スタンプラリーも大好評。みんな何個集められたかな～



初参加の久慈高校山形校でも生徒たちが大忙し



「八戸から来ました」。成谷自然食の会のそばは絶品！



1,200人の来場者が詰めかけた平庭高原闘牛場



目野沢ふるさとでは地場産品を販売



パツタリー村ではお茶会を開催



関自治会では短角牛焼肉を提供



掘り出し物がズラリのピッグフットのフリーマーケット



気軽に楽しめた炭々館の木炭アート作り

テイセンター会場」と久慈高校山形校の二団体。「短角牛焼き肉セット」や「うきうき団子」が好評だった関自治会の関利行会長は、「予想以上に盛り上がったし、地域資源の見直しにもつながった。来年も参加し、地域の元気づくりに結び付けていきたい」と笑顔。「山高祭」との併催で参加した久慈高校山形校でも、例年の山高祭を上回る来場者に生徒たちは大忙しの様子でした。

二日間とも好天に恵まれ、絶好のドライブ日より。山形町の特産品が当たるスタンプラリーも大人気で、参加した皆さんは、秋の紅葉を楽しみながら山形の魅力を満喫していました。

子どもたちも大喜びの2日間でした

▽心もおなかもいっぱいになりました。▽いっぱいドライブできて楽しかったです。▽山形のことがかかって楽しかった。紅葉もきれいで気持ちよかったです。▽家族そろって楽しめました。▽内間木洞でコウモリを十一匹見れたのでうれしかったです。▽人の優しさを知りました。▽道に迷いながらでしたが楽しかったです。▽田楽がおいしかったです。▽産直の新鮮で安い野菜が買えたのでよかったです。▽ふだん行くきっかけがない場所にまとめに行くことができ、よかったです。

山形町内の施設の 使用料等が変更になります

市では、平成十八年九月に市政改革プログラムを策定し、財政の健全化を進めてきました。その中で税負担と受益者負担の均衡を図るとともに、経済情勢の変化等を勘案し、各施設の使用料等の見直しを行うこととしました。

山形町内においては、各施設の使用料等が、来年四月一日から、下表のとおり変更になります。

なお、使用目的などにより

使用料の免除を受けられる場合があります。免除の割合や基準は、施設によって異なりますので、詳しくは、各担当課へお問い合わせください。

このほか、「平庭高原施設」、「霜畑農村健康増進センター」や「久慈市B&G海洋センター」などについては、市から施設の管理を指定された者が設定した額となります。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

使用料の減免について

施設の減免基準の一例は次のとおりです。
※私的営利目的は対象外

【山形総合センター】

- ・町内会など地域住民組織が集会のために使用する場合 8割免除
- ・農業協同組合、農業共済組合などが団体活動に使用する場合 8割免除
- ・市または教育委員会が後援を行なう団体が使用する場合 5割免除

例) 8割免除に該当し、研修室を9時から12時まで使用した場合
630円×2割→120円(10円未満切り捨て)

【山形公民館】

- ・社会教育関係団体が社会教育活動のために使用する場合 8割免除
- ・コミュニティ団体がコミュニティ活動のために使用する場合 5割免除

例) 5割免除に該当し、中講座室を13時から17時まで使用した場合
940円×5割→470円(5円未満切り捨て、5円以上切り上げ)

※上記はあくまで一例です。

山村文化交流センター（おらほーる）

区 分		9時から 12時まで	13時から 17時まで	18時から 22時まで	9時から 22時まで	
ホ ー ル	入場料を徴収しない場合	休 日	7,000円	10,400円	12,600円	23,090円
		休日以外の日	5,800円	8,400円	10,490円	18,890円
	1,000円未満の入場料を徴収する場合	休 日	8,800円	13,000円	15,750円	28,870円
		休日以外の日	7,300円	10,500円	13,120円	23,620円
	1,000円以上、2,000円未満の入場料を徴収する場合	休 日	10,500円	15,600円	18,370円	34,120円
		休日以外の日	8,700円	13,100円	15,750円	28,870円
	2,000円以上、3,000円未満の入場料を徴収する場合	休 日	12,300円	18,200円	21,000円	39,370円
		休日以外の日	10,200円	15,200円	18,370円	34,120円
	3,000円以上の入場料を徴収する場合	休 日	14,000円	20,800円	23,620円	44,620円
		休日以外の日	11,600円	17,400円	21,000円	39,370円
	練 習 室		1,830円	2,100円	2,360円	4,590円
	第 1 楽 屋		800円	1,000円	1,300円	2,800円
第 2 楽 屋		800円	1,000円	1,300円	2,800円	

山形総合センター

区 分	9時から 12時まで	13時から 17時まで	18時から 22時まで
研 修 室	630円	840円	840円
和 室	600円	800円	800円
第 1 講 習 会 室	630円	840円	840円
第 2 講 習 会 室	600円	800円	800円
講 堂	2,100円	2,800円	2,800円

山形公民館（おらほーる）

区 分	9時から 12時まで	13時から 17時まで	18時から 22時まで	9時から 22時まで
中講座室	780円	940円	1,090円	2,030円
大講座室	1,080円	1,300円	1,510円	2,700円
和 室	720円	860円	1,010円	1,870円
工 房 棟	1,590円	1,910円	2,230円	3,980円

内間木ビジターセンター

区 分	単 位	使 用 料			
		2時間以内 の使用	2時間を超 え4時間ま での使用	4時間を超 える使用	
市 民	児童及び 中学校生徒	1人につき	130円	260円	1,040円
	高等学校生徒 及び一般	1人につき	260円	520円	1,560円
そ の 他 の 者	児童及び 中学校生徒	1人につき	260円	520円	2,080円
	高等学校生徒 及び一般	1人につき	520円	1,040円	3,120円

▽お問い合わせ先

◆山形総合センター

山形総合支所ふるさと振興課
☎72-2111 内線116~117

◆山形公民館・山村文化交流センター

教育委員会事務局社会文化課 ☎52-2700
または教育振興室 ☎72-3711

◆内間木ビジターセンター

山形総合支所産業建設課
☎72-2111 内線130~132



趣味はフットサル

あん としるしゅんいち
安堵城隼一さん (来内出身)

- 自分の性格を一言で
ネガティブでマイペースです。
- スポーツは
サッカーです。市役所のフットサル団に在籍しています。
- 休みの日の過ごし方は
家でまったりしています。
- 好きな女性のタイプは
やさしくて、しぐさがかわいいと思える女性です。
- 将来の夢は
一獲千金。23歳までに結婚して夢のマイホーム
- 最後に一言
市役所の林業水産課にいます。どうぞ、よろしくお願ひします。

プロフィール

□生年月日 昭和62年2月16日 (21歳)
□血液型 A型
□勤務先 久慈市役所 (林業水産課)



木炭生産現場の調査では生産工程などを聞き取り

東京農業大学が実施する研究事業「国際食料情報学部プロジェクト」が山形町を調査対象地として行われることになり、十一月八日から十一日までの四日間、同大教授や学生など十四人が町内各地で現地調査を行いました。調査グループ一行は、短角牛やホウレンソウ、木炭といった主要産業の生産現場を訪れ、山形町が置かれている現状を把握しました。

このプロジェクトは、「山村に暮らす人々の生活、経済発展が、日本全体を支える原動力になる」という考え方のもと、山村の活性化を図るための方策を調査研究しようというものです。今年から三年計画で実施し、この間、同大学の教授や学生が、町内各地で一次産業の分野を中心としたさまざまな調査研究を行うことになっています。

プロジェクトの責任者を務める門間敏幸教授は、「山形町の資源には発展する力があり、大学としてどのような連携がとれるか研究したい。長期的な関係が構築されるよう東京農大の『食と農の博物館』で物産フェアを開催したり、東京農大が中心となる学会も山形町で開催したいと思っっている。山形町は、学生の教育

山形町振興策を三年計画で研究

東京農業大学の研究プロジェクトがスタート

元氣なコミュニティ倍増計画モデル調査 考えようこれからの繋地区

という意味でも生きた教材が多いことから、これから多くの方々のお世話になると思う

のでよろしくお願ひします」と、皆さんの協力を訴えていました。

行政と大学、そして地区民が連携しながら地域の活性化を考える「元氣なコミュニティ倍増計画モデル調査事業」が、八月から繋地区を対象に行われています。

です。すぐに何らかの事業に結びつくというものではありませんが、まずは行政、大学、地域が一緒に考えることから始めようといわれています。

調査活動の一環となる「第二回繋地区を語る会」は、九月二十八日、つなぎ地区消防コミュニティセンターで行われました。繋地区の皆さん十

一人が参加。市や県の職員、そして岩手県立大学の教授らも出席し、繋地区のあり方を考えました。

この日参加した中居徳一郎さんは、「水と空気が繋地区の自慢。今日は地域を見直すきっかけになりました。次回も参加したい」と、今後の話し合いにも意欲を見せていました。

この日の調査方法は、繋地区の良い点、悪い点を洗い出そうというもの。「まとまりがある」、「野菜、山菜を自給できる」、「交通の便が悪い」、「除雪が大変」など、参加者の皆さんはそれぞれに意見を出し合っていました。

このモデル調査は、年度内にわたって随時行われる予定



行政、大学、そして地域が連携し繋の活性化を協議

歩

霜畑中生が塩の道(野田・盛岡間)を踏破
いたぞ123キ。地域の歴史をその足で実感

霜畑中学校(田口秀一校長)の二年生四人が、「塩の道を歩こう」と題し、野田から盛岡までの道のりを踏破しました。地元の歴史を学ぼうと行わ



大きな目標達成に笑顔を見せる生徒や保護者の皆さん



最優秀賞の表彰を受ける越田恭君(左)

絵

画で表現、来内の自然

来内自治会が絵画コンクールを開催

来内自治会(小田勝正会長)では、来内小学校の児童を対象にした絵画コンクールを開

催し、十月四日の同校学習発表会で表彰式を行いました。「自分たちの住んでいる場所を見直す機会にしてほしかった」(小田会長)ことから初めて開催したこのコンクールは「美しい来内」がテーマ。子どもたちが素直な視点で描いた力作の数々に、小田会長も「逆に自分たちの子ども時代を思い出し、きれいな地域を守っていききたいと思った」と感心。大人の側にとっても、

足下を見つめ直すきっかけになったようです。
コンクールの入賞者は次のとおりです。※敬称略
▽最優秀賞 越田恭(六年)
▽優秀賞 斎藤龍也(六年)、大上佐千(五年)、落合祐真(四年) ▽特別賞 坂本翔(二年)



ジャッコを捕まえた喜びを表現した越田君の作品

れたこの取り組み。当然、一日で達成できる訳ではなく、昨年の九月から六回に分けて地道に歩いたものです。距離にして約百二十三キ。生徒だけでなく、先生や保護者も一緒に挑戦でした。ゴールにたどり着いた六回目は、十月十一日と十二日の泊まりがけで実施。川口駅



ゴール前の階段を駆け上がる生徒たち

(岩手町)を出発し、最終地点の盛岡八幡宮ではそれまでの疲れも忘れ、長い階段を駆け上がった元気がいっぱい

ゴールしました。ゴール後は、スタート前に野田で作った「野田塩」を奉納し、再来年の高校受験に向けての合格を祈願した生徒たち。岩井俊樹君は、「登り坂は大変だったけど、最高の気分」と塩の道制覇に満足げな表情。七ツ役明香さんは、「歩ききれるか心配でしたがうれしかったです。昔の人はスゴイ！」と笑顔を見せながら、昔の暮らしに感心しきり様子でした。

長寿と健康を盛大にお祝い

「山形地区敬老会」は、10月3日、海洋センターで開催されました。74歳以上が対象で、今年219人が出席。米寿のお祝いを受けた下平申松さん（川井）は、「体力は落ちるがこれからもさまざまな活動に参加したい」と、ますますの頑張りを誓っていました。



戸呂町保育園の園児から肩たたきのサービス

名誉賞は「はなひめ」号(下館進さん所有)

雌子牛の体型などを競う「第60回九戸地方日本短角種子牛共進会」(市、J A新岩手主催)は、10月24日、旧九戸家畜市場で行われました。今年のお品頭数は32頭。最高位に当たる名誉賞には、下館進さん(戸呂町)が出品した「はなひめ」号が輝きました。



下館さんと「はなひめ」号

ちょっと珍しい双子牛

ちょっと驚きの情報が届きました。下の写真に写っている2頭の子牛は中屋敷福男さん(荷軽部)宅で生まれた双子の子牛です。実はこの2頭、なんと、母牛「たつみ」が、3月3日と19日の2日に分けて生んだ子牛とのこと。非常に珍しい例ただけに、中屋敷さんも、「2頭目が生まれたときは間違いかと思ったが、そうじゃなかった。丈夫に育ってホッとしています」と笑顔を見せていました。



「元気に育ってホッとした」と中屋敷さん



山形中の全校生徒も出演し迫力のステージ

ホ

ールに響いた「ドッコイショ」

おらほーる10周年を記念し伊藤多喜雄コンサート

おらほーるの開館十周年記念事業「伊藤多喜雄コンサート」が、九月二十三日、同館で開催されました。

よさこいソーランの歌い手の一人として知られ、地域おこしにも貢献しながら全国各地コンサート活動を行っている伊藤さん。この日も各地の民謡を披露したほか、最後は山形中学校の全校生徒を踊り手に従えて、威勢のよい歌声をホールいっぱい響かせてくれました。

「おらほーる」は、山村文化



自分たちで作ったもちは格別の味

実

りの秋をもちつきで祝う

戸呂町収穫祭

「戸呂町収穫祭」(戸呂町青年会主催)は、十一月十六日、戸呂町小学校で行われ、地域の皆さんが、もちつきなどで収穫の秋を祝いました。

この日のもち米は、戸呂町小児童と青年会員が一緒に作ったもの。ホクホクのおもちに柏木佑介君(四年)は、「一

交流センター(ホール)、公民館、図書館などの複合施設として平成十年七月にオープン。ホールではこれまで、テレビでおなじみのスターによるコンサートや寄席、住民が主役になっての芸能大会や村民劇場といった公演を行ってきました。今後も、さまざまな企画を催していきますので、ますますのご来場をお願いたします。

番大きなきねを使って重かったけど、うまくつけた」と満足げ。会を主催した上平勝幸青年会長も、「田植えや稲刈りを通し、米作りの苦労が分かってもらえたのでは」と、何よりの「収穫」に笑顔を見せていました。



よいしょ〜!!元気いっぱいにもちつき



山形のカレンダー 12月~3月

月	日	曜	行事
12	7	日	歳末たすけあいチャリティ演芸会
	20	土	平庭高原スキー場オープン
1	1	祝	平庭高原スキー場ニューイヤーフェスタ
2	14	土	平庭高原スキー場まつり
	21	土	山形地区卓球大会
3	8	日	山形地区フットサル大会
	21	土	霜畑中学校閉校記念式典

※日程は変更になる場合もあります

12月20日(土) 平庭高原スキー場オープン

今年もイベント盛りだくさん！シーズン券は「くのへスキー場」と共通で使用でき、大変お得です。



なお、オープンは、積雪の状態によりずれ込む場合もあります。詳しくは、同スキー場(☎72-2944)または平庭山荘(☎72-2700)までどうぞ。



「近くて助かりました」(総合支所での申請第1号の石渡カツエさん)

海外旅行などに必要となるパスポートの申請や受け取りは、これまで県が振興局などが、窓口に行っていました。申請から受け取りまでの日は、二週間程度。申請には、申請書(窓口を設置)などの書類の提出が必要です。詳しくは、総合支所住民生活課(☎72-2111)までどうぞ。

歳末たすけあいチャリティ演芸会

日時 12月7日(日)
12時30分～
会場 おらほーる



詳しくは、市社会福祉協議会山形事務所(☎72-2800)までどうぞ。

編集後記

▽いいよいよ12月。寒さもだいぶ増してきましたね。☎も先日、遅ればせながらのタイヤ交換を済ませました。これから道路の凍結も心配されます。運転の際は、どうぞ気をつけてください。(木地谷)

東京で「山形町出身者の集い」開催 2年ぶりの語らいを楽しむ

隔年開催されている「山形町出身者の集い」(山形町同郷会主催)が、10月5日、東京都内の会場で開催されました。集いには、小向鉄男同郷会長や二十山親方など約50人の山形町出身者が出席。時間が経つのも忘れて、互いの近況報告などに花を咲かせていました。



二十山親方も出席



最後は肩を組んで「北国の春」を合唱

久慈市民おらほーる劇場第2回公演

内間木モグラーズ

作・演出 こむろこうじ

とき **12月21日(日)**

- ① 昼の部：午後2時
- ② 夜の部：午後6時

ところ **おらほーる**

入場料 一般 800円(当日1,000円)
高校生以下 400円(当日500円)

詳しくは、おらほーる(☎72-3711)までどうぞ。



表紙の写真

練習の成果、舞台で見事に発揮—

山形小学校(安藤歳勝校長)の学習発表会は、11月8日、おらほーるを会場に行われました。表紙の写真は2・3年生による劇「しあわせ村」。このほか各学年とも一生懸命の劇や合唱を堂々と繰り広げ、会場からも大きな拍手が送られていました。各学年とも見事に発表でした。



お知らせ

あなたの記事を「広報くじ」に!

市では、「広報くじ」の取材や記事提供を行っていただく「広報リポーター」を募集しています。広報をもっと身近な内容にしたいとお考えの方、ぜひご応募ください。

■活動内容 山形町の出来事や行事、話題の人などについて、随時、取材や記事提供を行っていただきます。

■活動期間 委嘱を受けた日から平成21年3月31日まで

■応募資格 満18歳以上(高校生を除く)で、取材用のカメラをお持ちの人数。山形地区担当として1人。

ご応募、お問い合わせは、市役所まちづくり振興課(☎52-2111内線254)までどうぞ。

総合支所でもパスポートが受けられます

海外旅行などに必要となるパスポートの申請や受け取りは、これまで県が振興局などが、窓口に行っていました。申請から受け取りまでの日は、二週間程度。申請には、申請書(窓口を設置)などの書類の提出が必要です。詳しくは、総合支所住民生活課(☎72-2111)までどうぞ。



あなたの記事を広報に。ご応募お待ちしております!

「やまがた総合支所だより」は年4回発行。次回は3月ごろの予定です。

発行・岩手県久慈市 編集・山形総合支所ふるさと振興課(☎028-8602 久慈市山形町川井8-30-1 ☎72-2111@109)